

## 1. 会長 ご挨拶

会長 不破 泰 (信州大学)

このたび、大学 e ラーニング協議会の会長に就任いたしました、信州大学の不破と申します。いつも協議会運営にご協力いただき、ありがとうございます。

大学 e ラーニング協議会は、日本の e ラーニングを先導的に推進している大学が緩やかに集まり、互いのノウハウを共有しながら ICT 活用教育をさらに推進するとともに、e ラーニングの利用をこれから考えている大学に対して様々なノウハウを提供することを主な目的として、2009 年に設立されました。これまで岡本敏雄先生(電気通信大学)、穂屋下茂先生(佐賀大学)が会長を務められ(所属はいずれも当時)、参加大学は 54 大学に、賛助会員組織も 9 組織となりました。

大学教育における e ラーニングの重要性は益々増大しています。例えば全入時代を迎えた大学では、多様な学力レベルの学生に対して個々の理解度に応じた個別対応教育を実現する必要があり、その手段として e ラーニングが挙げられます。また、アクティブラーニングや反転学習といった新たな教育手法の実現を通し、教育の質を保証するためのツールという役割も挙げられます。さらに、学生や社会人を対象としたキャリア教育のような新たな教育の実現のためのツールといった役割も重要です。

加えて、ICT を活用して日本を再興しようという大きな流れが日本全体で起きています。教育分野でも、2020 年からは小学校でプログラミング教室が始まります。ここで ICT を用いた教育のイノベーションを起こさなければ、様々な分野でおきている ICT を活用する流れから教育分野は置き去りとなります。

ただ、他の分野での ICT の活用と違い、教育分野への ICT の活用は人間への適用という複雑さから、多くの試行錯誤も必要となり、この試行錯誤のためにイノベーションには時間がかかりそうです。それを多くの大学が加盟している協議会の特徴を大いに活用して、様々な大学における活用事例を広く共有し、効率良く教育分野への ICT 活用モデルを確立することが考えられます。ここにも、この協議会に参加した大学にとっての大きな利点があります。

また、協議会には、日本語・英語・数学・情報・SPI 等の高校と大学の接続に関連した豊富な共通基盤教材を整備してきたという大きな実績があります。この教材を利用できることは協議会に参加することに大きなメリットですし、利用するだけに留まらず共通基盤教材整備に協力頂くことには、より大きなメリットをもたらします。

これからも、協議会に参加いただいている皆様とともに ICT を活用して更なる大学教育の向上を目指します。皆様のますますのご協力をお願い申し上げます。

## 2. 2018 年度代表幹事校 ご挨拶

2018 年度代表幹事校  
山梨大学

2018 年度は、山梨大学が e ラーニング協議会の代表幹事校を担当させていただきます。当協議会発展のために微力を尽くさせていただきます。会員大学各位には、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018 年度の総会・フォーラムは、2019 年 3 月 14 日～15 日に山梨大学甲府キャンパスにおいて、日本リメディアル教育学会学習支援部会・ICT 活用教育部会と合同で開催予定です。詳細が決まりましたら、メール等でお知らせいたします。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

2019 年 3 月 14 日(木) 幹事校ミーティング、UeLA 総会・フォーラム、情報交換会  
2019 年 3 月 15 日(金) リメディアル教育学会 学習支援部会・ICT 活用教育部会

### 【2018 年度 運営体制】

- 会長 : 不破 泰 (信州大学)
- 代表幹事校 : 山梨大学
- 監査校 : 愛媛大学、長岡技術科学大学
- 事務局校 : 信州大学、大手前大学、金沢大学、佐賀大学、創価大学、千歳科学技術大学、帝塚山大学
- 幹事校 : 山梨大学、岩手県立大学、愛媛大学、大手前大学、金沢大学、熊本大学、佐賀大学、信州大学、創価大学、千歳科学技術大学、帝塚山大学、長岡技術科学大学

## 3. UeLA & JADE 合同フォーラム 2017 開催報告

2017 年度代表幹事校  
岩手県立大学

2 月 28 日(水)、3 月 1 日(木)の 2 日間にわたり、岩手県立大学滝沢キャンパス(2 月 28 日)、アイーナキャンパス(3 月 1 日)において、「ICT 活用教育の組織的な導入と運用」をテーマに、UeLA & JADE 合同フォーラム 2017 が当協議会と日本リメディアル教育学会の主催、岩手県立大学との共催で開催されました。

1 日目は滝沢キャンパスで当協議会主催による「大学 e ラーニング協議会フォーラム」が開催されました。午前は入学前教育・初年次教育・スキル教育(反転)にトピックを絞って、ICT の活用事例を岩手県立大学、愛知大学、千歳科学技術大学から報告いただきました。また、当協議会が提供するシステムの機能や教材の紹介も行いました。午後は文部科学省高等教育局専門教育課長補佐の山路尚武先生と九州工業大学学長の尾家祐二先生をお迎えし、基調講演をいただきました。山路先生からは「高等教育における ICT 活用教育の現状等について」というテーマで、(1)ICT を活用した教育に関する各種提言等について、(2)平成 27 年度の大学における



教育内容等の改革状況について、(3)高等教育機関における ICT 利活用の現状についてお話をいただきました。尾家先生からは「九州工業大学における ICT 活用教育の組織的な取り組み」というテーマで、(1)九州工業大学で提供している多様な学習プログラムや学習環境について、(2)基盤整備や講義配信の状況について、(3)ICT 活用教育の組織的な推進について、(4)遠隔講義（同期型）について、(5)ICT 活用教育（Moodle の活用、学内クラウドの活用、コンテンツ例）、(6)組織的なポートフォリオの導入についてお話しいただきました。

続いて行われた ICT の組織的導入に関する事例報告会では、ポスター発表者のライトニングトークのあと、ポスターセッション会場で 8 大学（愛媛大学、九州工業大学、佐賀大学、信州大学、千歳科学技術大学、熊本大学、山梨大学、江戸川大学）、4 企業（株式会社ナレロー、株式会社ネットラーニング、株式会社ワオ・コーポレーション、ライズ株式会社）から、取組事例や研究事例、開発商品について 14 件の発表がありました。

2 日目はアイーナキャンパスに場所を移し、日本リメディアル教育学会東北支部・ICT 活用教育部会／大学 e ラーニング協議会（第二・第三部会）合同研究会が開催されました。合同研究会では 4 つのセッションに分かれ、23 件の研究発表が行われました。

合同フォーラム 1 日目は 98 名、2 日目は 52 名のご来場があり、2 日間で延べ 140 名のご来場がありました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。

## 4. 事業予定

9 月に教育システム情報学会の全国大会が北海道にて開催されます。これとジョイントして協議会の幹事校ミーティング及び公開ワークショップを開催します。

### 1) 幹事校ミーティングの開催

日時 2018 年 9 月 3 日（月）午後 3 時 30 分～  
会場 千歳科学技術大学 本部棟（事務棟）2F 大会議室  
（北海道千歳市美々 758-65）  
JR 南千歳駅より 大学行き 無料シャトルバス 14:50 発 15:01 着

### 2) 公開ワークショップ

『CHiLO コンテンツや Moodle を用いた ICT 活用教育と活用事例』  
担当 堀真寿美（NPO 法人 CCC-TIES）、喜多敏博（熊本大学）、望月雅光（創価大学）

日時 2018 年 9 月 4 日（月）午前 9 時～  
会場 北星学園大学（札幌市厚別区大谷地西 2-3-1）  
（教育システム情報学会全国大会プレカンファレンス内で実施）  
※ プレカンファレンスは公開（無料）です。

高等教育機関における ICT を活用した教育として、入学前教育、入学後のリメディアル教育、プレイスメントテスト、到達度テストなどの事例が多く報告され、従来型の e ラーニングとは一線を画すアクティブラーニング型の教育の導入も全国で志向されています。そのためには、目的にあったオンラインコンテンツをいかに効率的、効果的に開発し、利用できるかが大きなポイントとなります。本企画では、NPO 法人 CCC-TIES によって提案され、JMOC のプラットフォームの一つとしても採用されている「CHiLO」を用いたコンテンツ作成の実演を行います。専門知識がなくとも、電子書籍やウェブコンテ

ンツ、eラーニングシステムのコンテンツを作成できる様子を体験していただける内容となっております。また、CHiLOと連携するeラーニングシステムMoodleの最新動向として、新機能として導入された「アナリティクス」の紹介等も行います。また、大学eラーニング協議会の会員校におけるeラーニング活用事例等の紹介も行います。

## 5. 協議会よりお知らせ

### 1) 共通基盤システム活用のご案内

協議会では、一昨年度まで文部科学省の補助事業で行ってございました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けのeラーニング教材の共同利用を開始しました。数学（中学・高校・大学初級）、日本語、SPI対策をまずは利用できます。また、年内には英検対策（5級から準2級）までの内容を整備します。

会員大学は、試験利用期間（1年間程度）は無料で、本格利用に際しては年間7万円で、どの科目でも利用可能としています。詳しくは、下記までご連絡ください。

千歳科学技術大学 理工学部 教授 小松川浩 [hiroshi@photon.chitose.ac.jp](mailto:hiroshi@photon.chitose.ac.jp)  
千歳科学技術大学 理工学部 助教 山川広人 [yamakawa@photon.chitose.ac.jp](mailto:yamakawa@photon.chitose.ac.jp)

### 2) 大学間連携 FD 研修 要請のご案内

協議会では、ICTを活用したFD研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodleの運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学のFD研修などに派遣をいたします。

協議会HPの「視察・講師派遣」ページをご覧ください、ご興味のある大学は、担当校 信州大学 新村 ([uela-dispatch@googlegroups.com](mailto:uela-dispatch@googlegroups.com)) までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ：  
<https://www.uela.cloud/index/dispatch.html>

### 3) 後援イベントのご案内

本協議会が後援する高等教育関連のシンポジウムをご案内します。

- 【イベント名】TIES シンポジウム 2018『ブロックチェーンが教育を変える』
- 【日 時】2018年10月20日（土）13:00～
- 【会 場】帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス 16号館5階 16501教室
- 【主 催】NPO法人CCC-TIES
- 【後 援】帝塚山大学 / 大学eラーニング協議会
- 【開催概要】学校教育は、社会と経済の発展に有効な手段であり、世界各国において戦略的に学校教育の拡大が推し進められている一方で、多くの批判にもさらされてきた。しかし、学校という巨大な壁を乗り越える教育手段は未だ現れていない。ブロックチェーンの出現は、その状況を変えようとしているが、学校の壁を乗り越えるのではなく、学校で実現できなかった学びの仕組みを提供する。

本シンポジウムでは、ブロックチェーンが、既存の学校制度をどのように変えるか、そしてそれは我々にどのような未来をもたらすかについて議論する。

【参加費】一般 5,000 円のところ、本協議会会員：1,000 円 ※情報交換会：5,000 円  
【申込・詳細】下記 URL にて近日公開予定

<https://www.cccties.org/event/e20181020/>

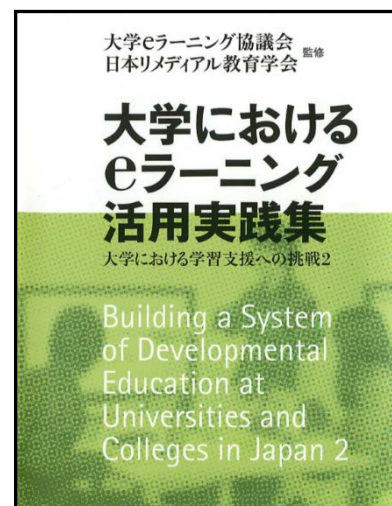
## 6. 書籍のご案内

日本リメディアル教育学会 (<http://jade-web.org>) と本協議会が監修した書籍「大学における e ラーニング活用実践集 大学における学習支援への挑戦 2」が、2016 年 1 月 30 日に、ナカニシヤ出版から発行されました。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b214708.html>

この書籍は、大学教育現場での ICT を活用した教育実践とアクティブラーニングを含む新たな教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

ご購入、図書館への推薦など、ご周知くださいますようご協力よろしくお願いいたします。



## 7. 事務局からのご案内

### ■会費納入のお願い

2017 年度および 2018 年度の会費未納の機関は、納入をよろしくお願いいたします。  
振込口座 銀行名：北洋銀行 支店名：千歳中央支店 口座番号：普通 4126901  
口座名義：大学eラーニング協議会

### ■加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡ください。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

### 大学eラーニング協議会ニューズレター NO. 17 (2018年7月13日 発行)

事務局：信州大学 総合情報センター内  
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1  
連絡先：E-mail [uela\\_offices@googlegroups.com](mailto:uela_offices@googlegroups.com)  
FAX 0263-37-3134  
※ できるだけE-mailにてご連絡ください

大学eラーニング協議会：<https://www.uela.cloud/>